



クロミノニシゴリ

[黒実の錦織]

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 ハイノキ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

サワフタギの近縁種で、9～10月に熟す実の色は黒。青い実をつけるサワフタギの別名がニシゴリのため、クロミノニシゴリと呼ばれる。本州中部地方以西の湿地や池の縁に生育する落葉小高木。5～6月、枝の先々に円錐花序を伸ばす。満開時には白い花で一面覆われる。



葉



花



花拡大



実

Memo

ニシゴリは漢字で書くと「錦織木」。この樹の木炭を紫根染の媒染剤に利用したことに由来する。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期				■								
🍒	果実									■			
🍂	黄葉											■	
🌱	施肥	■ (痩せ地でなければ不要)											
✂️	剪定	■											

好みの環境			
日当たり	陽	○	陰
土壌	乾	○	湿
寒さ	強	○	弱
暑さ	強	○	弱
潮風	強	○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○				○	○

ポイント

生長は遅く管理の手間がかからない。湿り気ある土壌を好み、乾燥と強い西日は苦手。枝を横に広げ、枝の先々に花をつける小中木。ほかの庭木に覆われないよう生育空間を確保するとよい。

剪定

生長が遅いので剪定は最小限。徒長枝とひこばえを整理し、混み合う部分は、枝抜き剪定にてまとめるとよい。側枝の先に花をつけるため、落葉時期に樹形を整えるとよい。

病虫害

シロシタホタルガ（黒地に白い帯のある翅と赤い頭が特徴）の幼虫の食害を受けることがある。新芽頃に孵化、結実する頃に羽化する。食害された葉を見つけ次第駆除する。